



ROTARY CLUB OF

NARA - WEST

DISTRICT WEEKLY BULLETIN
2650 No. 2444

2022. 7. 7

創立 1969年(昭和44年)12月13日

例会日 毎週木曜日18:00より

事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地

例会場 奈良ロイヤルホテル内

TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2022~2023年度
国際ロータリーのテーマ



国際ロータリー会長
ジェニファー E. ジョーンズ

2022~2023年度
地区のスローガン

「感動、感激、そして感謝」

RI第2650地区ガバナー
尾賀 康裕



霊山寺 三重塔

会 長 渡邊 巖	副 会 長 吉村 信男	会長エレクト 中西 吉日出	直前会長 植野 洋志	幹 事 相澤 万裕子
会 計 東山 光秀	会場監督 加藤 又拡	理 事 福川 益則	理 事 寺田 信弘	理 事 安井 清悟
理 事 内藤 源美	会報委員長 金田 宗寛			

第1回(2444回)例会プログラム令和4年7月7日(木)

1. 開会宣言 点鐘
2. ソング 「君が代」「奉仕の理想」
3. 来訪者紹介
4. 出席報告
5. 会長の時間・理事会報告
6. ニコニコ報告
7. 委員会報告・幹事報告
8. 会長・副会長・幹事・SAA・会計 今年度運営方針発表
9. 閉会宣言 点鐘

第30回 (2443回) 例会報告 2022. 6. 30
ソング

「四つのテスト」

来訪者紹介

関 嵐月さん 米山奨学生

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通 算 2443 回	41	6/8	20/33	13	66.7%
通算2441回修正	41	8/8	33/33	0	100.0%

会長の時間・退任挨拶 (植野会長)

〈2021~2022年度会長退任挨拶〉

植野 洋志会長



皆様こんばんは。本日も例会にご参加くださりありがとうございます。

今日で植野年度最後の例会です。私のわがままを申しまして、会長の時間と退任の挨拶を一緒にさせていただくことにいたしました。規則破りをご容赦ください。

毎年のことですが、退任される会長さんは、一年間を振り返って、役員の皆様へのお礼を申しておられます。私も当然同じことをいたしますが、お名前がでたり、でなかったりがあると思いますので、そのあたりはご勘弁ください。兎に角、挨拶が苦手な会長です。

最初に会長の時間的なお話をしたいと思います。テーマは出会いです。昔、大学院生の時にアメリカのアイオワ州のエイムスという町に住んでいました。大学町なので、結構な数の日本人の留学生がいました。多くはポストドクと呼ばれる方々で、日本の大学で博士号を取得し、しばらく大学で教員生活をしていると、短期の留学ができた時代です。結構若い方がその制度を利用して、一年とか二年間アメリカの研究室で研究生活をされていました。その時の研究成果などを日本に持ち帰って、日本ではその道の第一人者であるということで、その後は活躍されるという具合です。たまたま私と同学年の若いポストドクの方々がいました。一人は九州大学から、もう一人は東京大学からでした。ちょうど九州大学からの方の研究室の教授が日本から来られ

るということで、私たちはパーティーを開きました。お互いに以前からは知り合いでもなんでもなかったのです。教授先生とは普通ビールを飲んでワイワイしていればよかったのですが、たまたま私が「先生は留学のご経験はおありなんですか？」と尋ねたのがきっかけでした。答えは「私は大阪大学に留学しました」という答えを得たのでした。「珍しいですね。どの研究室でしたか？」と思わず問ってみました。実は、私の母の長兄が大阪大学工学部応用化学教室の初代の教授だったもので、大阪大学に反応しただけだったのです。そうしますと、教授は「八浜研究室」と答えました。えっ、と声を出してしまいました。八浜というのがまさに私の叔父の名前だったのです。そのことを教授にお伝えすると、教授もびっくりされてました。話はここでは終わらず、もう一人の東大からのポストドクの方が「私の叔父は八浜研究室の助教授でした」というではないですか。そのおじさんは、大阪市立大学で教授になり、当時はたくさんの教科書などを出版されていた名物教授で有名な方でした。私も初耳で、八浜という叔父を囲む人間が偶然集まったことに何かの縁を感じたものでした。若い三人の化学者はいまでも年賀状を交換する中になっています。八浜の叔父は、奈良に縁があり、西大寺に居を構えており、大阪大学を退官後は、文部省が作ってくれた奈良高専の初代の校長を10年ほど勤めていました。私は人の出会いはいろいろとありますが、一言発することで、普通では見えない糸を引き出せるんだな、ということがあると確信しています。ロータリーでの出会いも、単なる挨拶だけでなく、もっと踏み込むことでびっくりするような人間関係のつながりに結び付くのではないかと思います。ぜひ、そのような時間をもってゆきたいと願っております。

さて、退任と申しますと、お若い皆さんはまだまだ現役で、現職から退くということは経験されておられないかもしれません。私はこれまで二度定年退職し、その都度、再雇用してもらい、さらにそれぞれの再雇用からも退職させられています。退職を祝ってもらったのは、二度あるということでしょうか。しかし、振り返ってみますと、ある場所を離れる、という場面は多く、その都度、何らかの退任という儀式をした覚えがあります。折角ですので、紹介してゆきます。

- ・大学を卒業し、アメリカに留学に行く際。
- ・ボストンからアイオワに大学を移る際。
- ・アイオワで学位をとり、ニューヨークへ行く際。
- ・ニューヨークから日本に帰国する際。
- ・大阪医科大学から京都大学に移る際。
- ・京都大学から奈良女子大学に移る際。
- ・奈良女子大学を定年退職し、龍谷大学に移る際。その際には、安井P会長さんのところの料理長さんにはお世話になりました。
- ・龍谷大学を定年退職する際。
- ・14年間会長職を務めた日本生物高分子学会から会長職をやめる際。
- ・長年貢献しました日本生化学会近畿支部の幹事をやめる際。

という具合であり、このリストにロータリークラブが加わることになります。

この中で、最も多くの方に支えられたのは、この1年間を務めさせていただいたロータリークラブの会長という立場だと思います。その意味では、この一年を執行部の方々に支えられて歩んできたという実感があります。どうもありがとうございました。

特に今年度は年度初めに財団補助金の申請などの手続きを若い会員の皆様に学んでいただきたいと申しておりました。実際に補助金の申請ができたこと、大変喜ばしいことだと思います。小松理事・谷垣委員長はじめ関係者の方々にはお礼申し上げます。増強・奉仕・親睦に関しても大変印象に残っております。猪上理事・榎木理事・山川委員長に感謝申し上げます。また、毎週週報をはじめ広報に努めていただいた笹本理事・佐川委員長、そして例会を盛り上げていただいたピアノの川崎さん、クラブ全体を仕切っていただいているオフォスさんには有難うと申し上げます。福川会員、内輪会も楽しませていただきました。有難うございました。今年は、サイボウズの導入、ビデオ動画の配信などを始めました。まだ全員の方々にはメリットはないかもしれませんが、いづれクラブ運営の簡略化に役立つと願っております。最後ではありますが、役立たずの会長を支えていただきました下村幹事、松中SSA、渡邊エレクト、安井副会長、寺田会計には深謝申し上げます。本当にロータリーの友情に感謝です。これで会長の退任のご挨拶といたします。

幹事報告 (下村幹事)

例会変更は入り口の掲示でご確認ください。
1年間どうもありがとうございました。



植野洋志会長

植野年度最後の例会にご出席ありがとうございます。一年間ありがとうございました。ニコニコ。

仲村忠雄名誉会員

会長始め幹事役員のみなさまコロナ禍1年間ロータリー活動をありがとうございました。

林秀彦P会長、吉村信男P会長、三木武彦P会長、川崎祥記P会長、猪上正孝会員、松山悦啓会員、東山光秀会員、寺田信弘会員

植野会長、下村幹事、松中会場監督はじめ役員のみなさまコロナ禍の中1年間本当にご苦労様でした。

松川信夫P会長、中西吉日出会員、谷垣嘉輝会員、佐川寛一会員、松中隆会員、小松玲子会員、加藤又拡会員

会長幹事1年間ご苦労様でした。

安井清悟P会長

会長幹事お疲れさまでした。初めての副会長。何もできなくて会長に「おんぶにだっこ」でした。次年度は頑張ります。

渡邊巖会員

植野会長下村幹事、役員、理事の皆さま、1年間ご苦労様でした。そしてありがとうございました。7月からは新しい年度と思うと少し気が重いです。次年度も御指導御協力の程よろしく願い申し上げます。

下村由加里会員

一年間ご迷惑かけました。とても良い経験となりました。ニコニコ。

岡崎義幸会員

皆様ご無沙汰致しておりました。顔面神経麻痺によりお休みさせていただいておりました。会長幹事さん1年間ご苦労様でした。

地区委員委嘱状交付

国際ロータリー第2650地区

2022-2023年度 インターアクト委員会委員

下村 由加里会員

寺田 信弘会員

**<2021~2022年度幹事退任挨拶>**

下村 由加里幹事



今年一年本当にありがとうございました。

幹事という大役を与えて下さった植野会長には心から感謝しております。

この一年、私が幹事を務めたことで、株式会社ハンナは事業継承につながる「職業奉仕」に成功しました。

本日はそのご報告をさせていただきます。

私は創業者の父の「孫に事業を継がせたい」夢を実現するために社長になりました。

社会知らずの私は、ロータリー活動を通じて、経営の喜びを学びました。

地区への出向など奉仕活動の機会を与えて下さった会員の皆様に感謝いたしております。

かねてから、定期的な新卒採用、健康経営7年連続受賞(ブライツ500連続認証)などES満足度を重視した経営を行ってききましたが、私が幹事を務めたことで、その成果が現れました。

安全衛生委員会など若手社員が自発的に参画し、活躍できる企業に現場の事業継承が進んだようです。昨年末から母の介護も重なり、燃料高騰、資材不足など課題満載で出社ができない日もありました。

しかし先日、若手社員の社内研修で「社長の奉仕活動は自分たちの誇りです」という意見を聞き、社内での世代交代を実感しました。

運送業は社会インフラを支える重要な生業です。

今後も、この若手社員たちが仕事を通じて(職業奉仕)

社会に役立つ事業運営を実行してくれると思います。

会員の皆様には、植野会員の退会などご迷惑かけました。

しかし皆様のご協力で、新入会員も迎えることもでき、奉仕と親睦のバランスの整った事業運営ができたと思います。

まだ感染リスクと闘いながらの例会や親睦の開催で、

理事、委員長の皆様には本当にお世話になりました。

幹事経験は人生勉強でした。

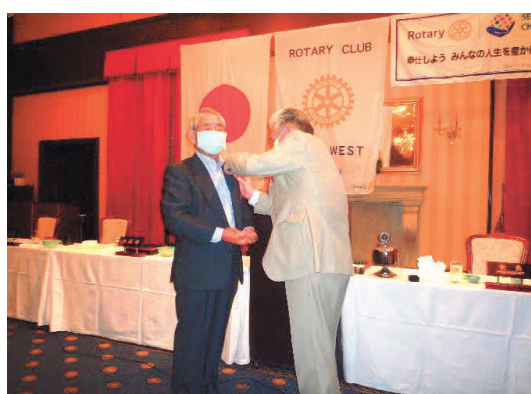
今後も新年度の皆様のお役に立てるようにロータリー活動に参加します。

皆様、本当にご協力ありがとうございました。

幹事退任挨拶(続き)



バッジの交換



第2回 (通算2445回)例会予告
例会日 令和4年7月14日(木)

各理事 事業計画発表

クラブ管理担当	中西	吉日出理事
クラブ広報担当	福川	益則理事
クラブ増強担当	寺田	信弘理事
クラブ奉仕担当	安井	清悟理事
クラブ財団担当	内藤	源美理事

(担当:金田・オフォス)